

## ■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限（設定日：2021年8月3日）
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として日本を除く先進国の株式に投資し、クオリティを重視したアクティブ運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 MFSグローバル・クオリティ・グロース株ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用） MFSグローバル・クオリティ・グロース株マザーファンド キャッシュ・マネジメント・マザーファンド 円貨建て公社債および短期金融商品等
当ファンドの運用方法	■投資信託証券への投資を通じて、主として日本を除く先進国の株式に投資し、クオリティを重視したアクティブ運用を行います。 ■指定投資信託証券の選定については、SMB C日興証券株式会社からの助言を受けます。なお、指定投資信託証券は、継続的にモニタリングを行い必要な場合は入替えも行います。 ■実質組入外貨建資産については、指定投資信託証券において、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。
組入制限	■外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	■年1回（原則として毎年7月31日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配金額を決定します。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 （ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。 （基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。）

# 日興FWS・ 先進国株クオリティ （為替ヘッジあり） 【運用報告書(全体版)】

（2021年8月3日から2022年8月1日まで）

第 1 期

決算日 2022年8月1日

## 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主として日本を除く先進国の株式に投資し、クオリティを重視したアクティブ運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

## 三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

### ■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

### ■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976  
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

## 日興FWS・先進国株クオリティ（為替ヘッジあり）

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

### ■ 設定以来の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数) MSCIコクサイインデックス (配当込み、円ヘッジ換算ベース)		公社債 組入比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率	期中 騰落率			
(設定日) 2021年8月3日	円 10,000	円 -	% -	100.00	% -	% -	百万円 1
1期(2022年8月1日)	8,716	0	△12.8	92.85	△7.1	0.0	97.7

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※参考指数は、当報告書作成時に知りえた情報をもとに当社が独自に計算し、設定時を100として、指数化しています。なお、基準価額の反映を考慮した日付の値を使用しています。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

※参考指数は市場の動きを示す目的で記載しており、当ファンドが当該参考指数を意識して運用しているわけではありません。

### ■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		(参考指数) MSCIコクサイインデックス (配当込み、円ヘッジ換算ベース)		公社債 組入比率	投資信託 組入比率
	騰落率	騰落率				
(設定日) 2021年8月3日	円 10,000	% -	100.00	% -	% -	% -
8月末	10,080	0.8	102.81	2.8	1.4	97.0
9月末	9,726	△2.7	98.99	△1.0	1.2	97.0
10月末	9,902	△1.0	104.17	4.2	0.0	98.0
11月末	9,729	△2.7	104.62	4.6	0.0	98.0
12月末	10,082	0.8	107.54	7.5	0.0	98.1
2022年1月末	9,242	△7.6	100.07	0.1	0.0	97.9
2月末	9,064	△9.4	99.19	△0.8	0.0	84.0
3月末	9,535	△4.7	103.74	3.7	0.0	98.0
4月末	8,716	△12.8	95.04	△5.0	0.0	97.8
5月末	8,707	△12.9	94.82	△5.2	0.0	97.8
6月末	8,236	△17.6	86.92	△13.1	0.0	97.7
7月末	8,584	△14.2	91.68	△8.3	0.0	97.7
(期末) 2022年8月1日	8,716	△12.8	92.85	△7.1	0.0	97.7

※騰落率は設定日比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

# 1 運用経過

基準価額等の推移について（2021年8月3日から2022年8月1日まで）

## 基準価額等の推移



※参考指数は、設定日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

設定日	10,000円
期末	8,716円 (既払分配金0円(税引前))
騰落率	-12.8% (分配金再投資ベース)

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの参考指数は、MSCIコクサイインデックス(配当込み、円ヘッジ換算ベース)です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

**基準価額の主な変動要因（2021年8月3日から2022年8月1日まで）**

投資信託証券への投資を通じて、主として日本を除く先進国の株式に投資し、クオリティを重視したアクティブ運用を行いました。

実質組入外貨建資産については、原則として、対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

**上昇要因**

- 新型コロナウイルス禍からの経済再開に伴う景気回復への期待が高まったこと
- 概ね堅調な企業業績となったこと

**下落要因**

- 欧米金融当局のタカ派（インフレ抑制を重視する立場）的姿勢、世界的な金利上昇による景気減速への懸念が高まったこと
- インフレを巡る先行き不透明感が高まったこと
- ウクライナ紛争の長期化、ロシアへの経済制裁による経済への影響が懸念されたこと

投資環境について（2021年8月3日から2022年8月1日まで）

期間におけるグローバル株式市場は下落しました。

グローバル株式市場は下落しました。

期初、コロナ禍からの経済再開に伴う景気回復期待が続くなか、米インフラ投資計画への期待感などから堅調に推移しました。欧米の金融緩和策見直しの動きなどが嫌気され一時的に下落しましたが、良好な企業決算、経済指標により、持ち直して高値圏で推移しました。

年が明けると、インフレを巡る先行き不

透明感、欧米金融当局のタカ派姿勢の強まり、ロシアのウクライナ侵攻を背景に、軟調な動きとなりました。原油高の一服、ロシアとウクライナの停戦協議への期待感から一時反発しましたが、その後、米欧の金融引き締め加速、ウクライナ紛争長期化等を背景とした世界経済減速懸念などから、下落しました。期を通しては下落となりました。

ポートフォリオについて（2021年8月3日から2022年8月1日まで）

## 当ファンド

「MF S グローバル・クオリティ・グロース株ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）」の組入比率を高位に保ちました。

## MF S グローバル・クオリティ・グロース株ファンド（為替ヘッジあり） （適格機関投資家専用）

「MF S グローバル・クオリティ・グロース株マザーファンド」の組入比率を高位に保ちました。実質組入外貨建資産については、

原則として、対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指しました。

## （MF S グローバル・クオリティ・グロース株マザーファンド）

### ●株式組入比率

主に日本を除く先進国の株式等の中から、中長期的に成長が期待できる銘柄を中心に投資を行い、株式組入比率は期を通じて高位に維持しました。

### ●国別配分

期末では、純資産総額の60%以上を米国

に投資しました。次いで、カナダ、英国の比率を高くしました。

### ●通貨配分

期末では、純資産総額の70%以上が米ドル建て、次いで英ポンド、ユーロ、スイスフラン建ての順で比率を高くしました。

### ●業種配分

期末の組入上位業種は、情報技術、ヘルスケア、一般消費財・サービスでした。

個別銘柄の売買や株価の変動の結果、期首比では、情報技術、資本財・サービスなどの配分を引き上げた一方、不動産、ヘルスケアなどの配分を引き下げました。

### ●個別銘柄

期末の組入上位銘柄は、インターネット検索エンジン・プロバイダーのアルファベット(米/コミュニケーション・サービス)、大手ソフトウェアメーカーのマイクロソフト(米/情報技術)、鉄道会社のカナディアン・パシフィック鉄道(カナダ/資本財・サービス)です。

期中の売買については、ソフトウェアメーカーのアドビ(米/情報技術)や蒸留酒メーカーの貴州茅台酒(中/生活必需品)などを新規に組入れました。医療診断および治療器具メーカーのメドトロニック(米/ヘルスケア)やワイン・蒸留酒製造のペルノ・リカール(フランス/生活必需品)などを全

部売却しました。

### ●ポートフォリオの特性

企業ファンダメンタルズ(業績、財務内容などの基礎的諸条件)の分析に基づき、強い価格決定力を備え、高クオリティかつ持続的なキャッシュフローの成長が期待できる企業群を選好します。期末において、10業種77銘柄に分散したポートフォリオとしました。

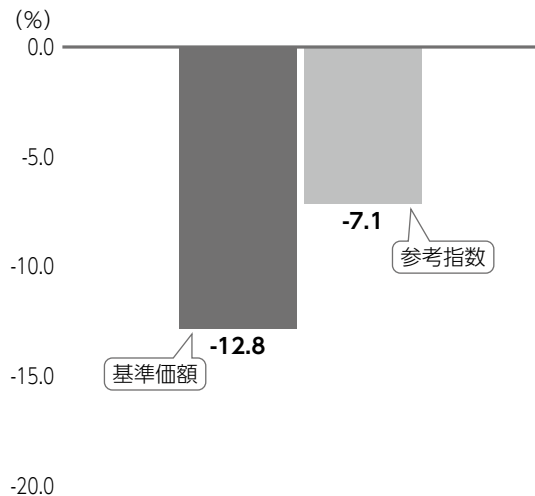
---

### キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について（2021年8月3日から2022年8月1日まで）

基準価額と参考指数の騰落率対比



当ファンドは、運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてMSCIコクサイインデックス(配当込み、円ヘッジ換算ベース)を設けています。

左のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

※基準価額は分配金再投資ベース

分配金について（2021年8月3日から2022年8月1日まで）

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第1期
当期分配金	0
(対基準価額比率)	(0.00%)
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	0

期間の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りいたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

## 2 今後の運用方針

### 当ファンド

「MF Sグローバル・クオリティ・グロース株ファンド(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)」の組入比率を高位に保ちます。

### MF Sグローバル・クオリティ・グロース株ファンド(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)

「MF Sグローバル・クオリティ・グロース株マザーファンド」の組入比率を高位に保ちます。実質組入外貨建資産については、原則として、対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指します。

### (MF Sグローバル・クオリティ・グロース株マザーファンド)

当ファンドは、常に中長期的な視点から、本業に強みを持ち、市場平均以上の収益やキャッシュフローの成長が継続的に期待され、かつバリュエーション(投資価値評価)

も割安に放置されていると考えられるクオリティの高い企業群への投資を継続します。

世界の金融市場や経済の動向、地政学リスクなどに留意しながら、MF S独自のリサーチプロセスに基づき、短期的で不安定な市場の動向に過剰反応することなく、あくまで長期的視野に基づいた投資を行います。

### キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

## 3 お知らせ

### 約款変更について

該当事項はございません。



日興FWS・先進国株クオリティ（為替ヘッジあり）

1万口当たりの費用明細（2021年8月3日から2022年8月1日まで）

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	21円	0.225%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は9,349円です。
（投信会社）	(15)	(0.165)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
（販売会社）	(3)	(0.033)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(3)	(0.027)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
（株式）	(－)	(－)	売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(－)	(－)	
(c) 有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
（株式）	(－)	(－)	有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（公社債）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(－)	(－)	
(d) その他費用	1	0.006	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(－)	(－)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.006)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
（その他）	(0)	(0.000)	その他:信託事務の処理等に要するその他費用
合計	22	0.231	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

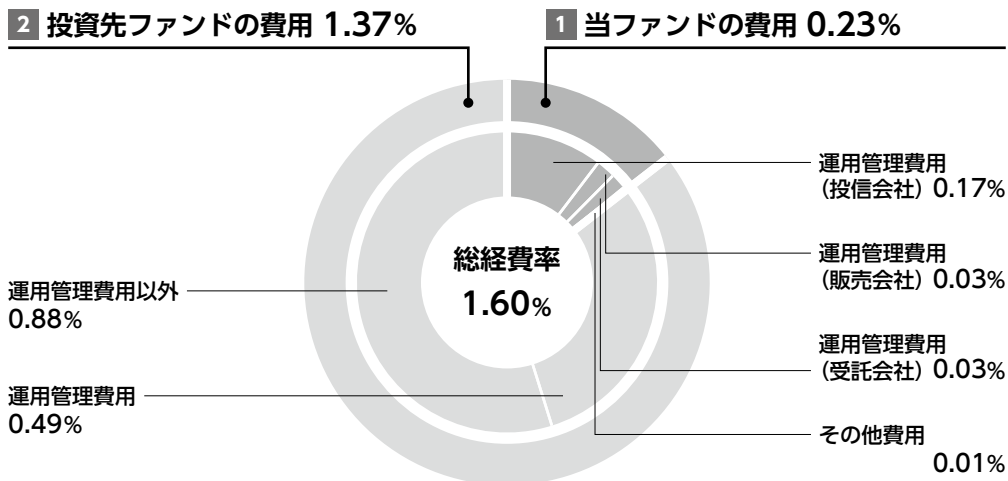
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



## 参考情報 総経費率（年率換算）



<b>総経費率 (1 + 2)</b>	<b>1.60%</b>
<b>1 当ファンドの費用の比率</b>	<b>0.23%</b>
<b>2 投資先ファンドの運用管理費用の比率</b>	<b>0.49%</b>
<b>2 投資先ファンドの運用管理費用以外の比率</b>	<b>0.88%</b>

※1の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※2の各費用は、投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の「1万口当たりの費用明細」をもとに、投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※1と2の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は1.60%です。

## 日興FWS・先進国株クオリティ（為替ヘッジあり）

### ■ 当期中の売買及び取引の状況（2021年8月3日から2022年8月1日まで）

#### (1) 投資信託証券

		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
国内	MFSGローバル・クオリティ・グロース株ファンド （為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）	305,871,898	千円 297,004	26,996,008	千円 23,104

※金額は受渡し代金。

※国内には、円建ての外国籍投資信託証券を含みます。

※管理上の都合により、一部の銘柄において属性が変わっている場合があります。

#### (2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
キャッシュ・マネジメント・マザーファンド	千口 19	千円 20	千口 -	千円 -

### ■ 利害関係人との取引状況等（2021年8月3日から2022年8月1日まで）

#### 利害関係人との取引状況

#### 日興FWS・先進国株クオリティ（為替ヘッジあり）

当期中における利害関係人との取引等はありません。

#### キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

区 分	買付額等			売付額等		
	A	うち利害関係人 との取引状況B	B A	C	うち利害関係人 との取引状況D	D C
公 社 債	百万円 4,571	百万円 1,308	% 28.6	百万円 -	百万円 -	% -

※平均保有割合 0.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMB C日興証券株式会社です。

### ■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

（2021年8月3日から2022年8月1日まで）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

### ■ 自社による当ファンドの設定・解約状況（2021年8月3日から2022年8月1日まで）

期首 (元)	残高 (本)	当元	期設 定本	当元	期解 約本	期末 (元)	残高 (本)	取 引 の 理 由
	百万円 1		百万円 -		百万円 1		百万円 -	当初設定時または当初運用時における取得等

■ 組入れ資産の明細（2022年8月1日現在）

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	期		末
	口数	評価額	組入比率
MFSグローバル・クオリティ・グロース株ファンド （為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）	278,875,890	247,167	97.7
合計	278,875,890	247,167	97.7

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

(2) 親投資信託残高

種類	期		末
	口数	評価額	評価額
キャッシュ・マネジメント・マザーファンド	19	19	19

※キャッシュ・マネジメント・マザーファンドの期末の受益権総口数は4,080,305,712口です。

■ 投資信託財産の構成

（2022年8月1日現在）

項目	期		末
	評価額	比率	比率
投資信託受益証券	247,167	97.6	97.6
キャッシュ・マネジメント・マザーファンド	19	0.0	0.0
コール・ローン等、その他	5,992	2.4	2.4
投資信託財産総額	253,179	100.0	100.0

## ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年8月1日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	253,179,853円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	5,992,156
投資信託受益証券(評価額)	247,167,701
キャッシュ・マネジメント・マザーファンド(評価額)	19,996
(B) 負 債	268,948
未 払 信 託 報 酬	259,351
そ の 他 未 払 費 用	9,597
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	252,910,905
元 本	290,178,204
次 期 繰 越 損 益 金	△ 37,267,299
(D) 受 益 権 総 口 数	290,178,204口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	8,716円

※当期における期首元本額1,000,000円、期中追加設定元本額317,632,536円、期中一部解約元本額28,454,332円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## ■ 損益の状況

(自2021年8月3日 至2022年8月1日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 1,573円
受 取 利 息	244
支 払 利 息	△ 1,817
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△23,261,088
売 買 益	3,374,199
売 買 損	△26,635,287
(C) 信 託 報 酬 等	△ 342,287
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△23,604,948
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	△13,662,351
(配 当 等 相 当 額)	(△ 3,439)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△13,658,912)
(F) 合 計 (D + E)	△37,267,299
次 期 繰 越 損 益 金 (F)	△37,267,299
追 加 信 託 差 損 益 金	△13,662,351
(配 当 等 相 当 額)	(△ 3,439)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△13,658,912)
繰 越 損 益 金	△23,604,948

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	0
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	0
1 万 口 当 た り 当 期 分 配 対 象 額	0.00
(f) 分配金	0
1 万 口 当 た り 分 配 金	0

## ■ 分配金のお知らせ

1 万 口 当 た り 分 配 金 (税 引 前)	当 期
	0円

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

MFSグローバル・クオリティ・グロース株ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）  
第1期（2021年8月2日～2022年5月16日）

◎ファンドの仕組み

運用会社	MFSインベストメント・マネジメント株式会社
運用方針	<p>①MFSグローバル・クオリティ・グロース株マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、日本および新興国を含む世界の株式を主要投資対象とし、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。</p> <p>②マザーファンドでは、徹底したボトムアップ・アプローチをもとに、高い利益成長を持続的に遂げることで企業価値を高めていくと見込まれる銘柄に厳選投資します。</p> <p>③株式の実質組入比率は、原則として高位を維持します。</p> <p>④実質組入外貨建資産については、原則として、対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指します。なお、一部の通貨については、別の通貨を用いて対円での為替ヘッジを行う場合があります。</p> <p>⑤マサチューセッツ・ファイナンシャル・サービスズ・カンパニーにマザーファンドの運用の指図（国内の短期金融資産の運用の指図に係る権限を除きます。）および実質組入外貨建資産の為替ヘッジ取引の指図に関する権限を委託します。</p> <p>⑥当初設定後一定期間および資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合やファンドの投資目的が達成されない場合があります。</p>
主要投資対象	マザーファンド受益証券を主要な投資対象とします。

○損益の状況（2021年8月2日～2022年5月16日）

項目	当期	円
(A) 配当等収益	△	2
支払利息	△	2
(B) 有価証券売買損益	△48,152,135	
売買益	8,348,541	
売買損	△56,500,676	
(C) 信託報酬等	△1,378,788	
(D) 当期損益金(A+B+C)	△49,530,925	
(E) 追加信託差損益金	△4,634,189	
(売買損益相当額)	(△4,634,189)	
(F) 計(D+E)	△54,165,114	
(G) 収益分配金	0	
次期繰越損益金(F+G)	△54,165,114	
追加信託差損益金	△4,634,189	
(配当等相当額)	(157,345)	
(売買損益相当額)	(△4,791,534)	
分配準備積立金	342,251	
繰越損益金	△49,873,176	

- (注1) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
(注2) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
(注3) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
(注4) 当期において、マザーファンドおよび当ファンドの投資信託財産の運用の指図にかかる権限の一部を委託するために要する費用として、委託者報酬から支払う額は414,786円です。  
(注5) 当期末における費用控除後の配当等収益(342,251円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(157,345円)より分配対象収益は499,596円(1万円当たり12円)ですが、当期に分配した金額はありません。

○組入資産の明細（2022年5月16日現在）

親投資信託残高		
銘柄	当期末	
	口数	評価額
MFSグローバル・クオリティ・グロース株マザーファンド	千口 334,694	千円 340,016

\*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

# MFSグローバル・クオリティ・グロース株マザーファンド

第1期（2021年8月2日～2022年5月16日）

## ◎ファンドの仕組み

運用会社	MFSインベストメント・マネジメント株式会社
運用方針	①日本および新興国を含む世界の株式を主要投資対象とし、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。 ②徹底したボトムアップ・アプローチをもとに、高い利益成長を持続的に遂げることで企業価値を高め、ていくと見込まれる銘柄に厳選投資します。 ③株式の組入比率は、原則として高位を維持します。 ④外貨建資産については、原則として、為替ヘッジを行いません。 ⑤マサチューセッツ・ファイナンシャル・サービスズ・カンパニーに運用の指図に関する権限を委託します（国内の短期金融資産の運用の指図に係る権限を除きます。）。 ⑥当初設定後一定期間および資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合やファンドの投資目的が達成されない場合があります。
主要投資対象	日本および新興国を含む世界の株式を主要投資対象とします。

## ○組入資産の明細

(2022年5月16日現在)

### 国内株式

銘柄	柄	当期末	
		株数	評価額
化学 (56.3%)		千株	千円
コーセー		1.4	15,988
機械 (43.7%)			
ダイキン工業		0.6	12,426
合計	株数・金額 銘柄数 < 比率 >	2	28,414
		2	<1.9%>

\*銘柄欄の( )内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

\*評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

\*評価額の単位未満は切り捨て。

# 外国株式

銘柄	当 期 末			業 種 等
	株 数	評 価 額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	千アメリカドル	千円	
ABBOTT LABORATORIES	5	65	8,447	ヘルスケア機器・サービス
ADOBE INC	2	81	10,513	ソフトウェア・サービス
ANALOG DEVICES INC	7	112	14,591	半導体・半導体製造装置
APPLE INC	17	261	33,930	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
BECTON DICKINSON AND CO	6	162	21,129	ヘルスケア機器・サービス
TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	20	185	24,093	半導体・半導体製造装置
BOSTON SCIENTIFIC CORP	49	197	25,570	ヘルスケア機器・サービス
AMPHENOL CORP-CL A	28	203	26,413	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
CHURCH & DWIGHT CO INC	23	227	29,471	家庭用品・パーソナル用品
COLGATE-PALMOLIVE CO	15	118	15,328	家庭用品・パーソナル用品
CREDICORP LTD	6	89	11,580	銀行
DANAHER CORP	6	159	20,741	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
MOODY'S CORP	3	97	12,625	各種金融
COGNIZANT TECH SOLUTIONS-A	13	96	12,462	ソフトウェア・サービス
ELECTRONIC ARTS INC	17	212	27,569	メディア・娯楽
EQUIFAX INC	8	160	20,761	商業・専門サービス
ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A	2	58	7,635	家庭用品・パーソナル用品
FISERV INC	21	206	26,757	ソフトウェア・サービス
AGILENT TECHNOLOGIES INC	5	65	8,543	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
MCCORMICK & CO-NON VGT SHRS	16	164	21,385	食品・飲料・タバコ
MARSH & MCLENNAN COS	6	96	12,483	保険
MICROSOFT CORP	21	566	73,429	ソフトウェア・サービス
XCEL ENERGY INC	18	136	17,731	公益事業
NIKE INC -CL B	13	150	19,457	耐久消費財・アパレル
PEPSICO INC	4	70	9,099	食品・飲料・タバコ
ROSS STORES INC	18	170	22,140	小売
FIDELITY NATIONAL INFORMATION SERVICES INC	14	141	18,316	ソフトウェア・サービス
SCHWAB (CHARLES) CORP	19	128	16,663	各種金融
HDFC BANK LTD-ADR	29	156	20,351	銀行
CANADIAN PACIFIC RAILWAY LTD	41	284	36,860	運輸
SHERWIN-WILLIAMS CO/THE	4	118	15,308	素材
STARBUCKS CORP	19	147	19,142	消費者サービス
STRYKER CORP	4	103	13,458	ヘルスケア機器・サービス
TEXAS INSTRUMENTS INC	6	107	13,886	半導体・半導体製造装置
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	3	181	23,515	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
TJX COMPANIES INC	16	94	12,197	小売
SAMSUNG ELECTR-GDR 144A	0.55	71	9,330	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
MASTERCARD INC-CLASS A	2	80	10,398	ソフトウェア・サービス
VISA INC-CLASS A SHARES	11	225	29,213	ソフトウェア・サービス
ACCENTURE PLC-CL A	10	287	37,254	ソフトウェア・サービス
VERISK ANALYTICS INC-CLASS A	4	74	9,686	商業・専門サービス
TE CONNECTIVITY LTD	9	120	15,666	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
APTIV PLC	6	68	8,842	自動車・自動車部品
ICON PLC	9	208	26,973	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BLACK KNIGHT INC	12	85	11,039	ソフトウェア・サービス
STERIS PLC	5	127	16,536	ヘルスケア機器・サービス
CIGNA CORP	4	110	14,382	ヘルスケア機器・サービス
OTIS WORLDWIDE CORP	16	120	15,678	資本財
BLACKSTONE GROUP INC/THE -A	3	39	5,116	各種金融
AON PLC	5	164	21,318	保険
MEDTRONIC PLC	6	68	8,851	ヘルスケア機器・サービス



銘柄	当 期 末			業 種 等	
	株 数	評 価 額			
		外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	千アメリカドル	千円		
FORTIVE CORP - W/I	27	158	20,516	資本財	
ALPHABET INC-CL A	2	631	81,849	メディア・娯楽	
CHARTER COMMUNICATIONS INC-A	2	103	13,384	メディア・娯楽	
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	660 54	8,327 -	1,079,636 <73.1%>	
(カナダ)		千カナダドル			
DOLLARAMA INC	32	235	23,626	小売	
CGI INC	14	156	15,712	ソフトウェア・サービス	
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	47 2	391 -	39,338 <2.7%>	
(ユーロ…ドイツ)		千ユーロ			
ADIDAS AG	8	152	20,635	耐久消費財・アパレル	
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	8 1	152 -	20,635 <1.4%>	
(ユーロ…フランス)					
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	2	140	18,905	耐久消費財・アパレル	
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	2 1	140 -	18,905 <1.3%>	
(ユーロ…オランダ)					
WOLTERS KLUWER	9	86	11,654	商業・専門サービス	
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	9 1	86 -	11,654 <0.8%>	
(ユーロ…スペイン)					
CELLNEX TELECOM SAU	20	84	11,352	電気通信サービス	
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	20 1	84 -	11,352 <0.8%>	
ユ ー ロ 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	40 4	463 -	62,547 <4.2%>	
(イギリス)		千イギリスポンド			
DIAGEO PLC	36	140	22,351	食品・飲料・タバコ	
BURBERRY GROUP PLC	53	84	13,441	耐久消費財・アパレル	
RECKITT BENCKISER GROUP PLC	19	126	20,114	家庭用品・パーソナル用品	
B&M EUROPEAN VALUE RETAIL SA	169	79	12,623	小売	
FLUTTER ENTERTAINMENT PLC	8	75	12,036	消費者サービス	
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	288 5	506 -	80,566 <5.5%>	
(スイス)		千スイスフラン			
ROCHE HOLDING AG-GENUSSSCHEIN	4	139	18,024	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
NESTLE SA-REG	11	144	18,680	食品・飲料・タバコ	
SCHINDLER HOLDING-PART CERT	3	64	8,309	資本財	
JULIUS BAER GROUP LTD	11	52	6,839	各種金融	
SIKA AG-REG	1	43	5,664	素材	
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	32 5	444 -	57,518 <3.9%>	
(香港)		千香港ドル			
ALIBABA GROUP HOLDING LTD	178	1,463	24,171	小売	
TENCENT HOLDINGS LTD	48	1,701	28,102	メディア・娯楽	
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	226 2	3,164 -	52,273 <3.5%>	
(韓国)		千韓国ウォン			
NAVER CORP	7	196,267	19,940	メディア・娯楽	
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	7 1	196,267 -	19,940 <1.3%>	

銘柄	当 期 末			業 種 等
	株 数	評 価 額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(中国オフショア) KWEICHOW MOUTAI CO LTD-A	百株 3	千オフショア人民元 533	千円 10,188	食品・飲料・タバコ
小 計	株 数 ・ 金 額 3	533	10,188	
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	<0.7%>	
合 計	株 数 ・ 金 額 1,305	—	1,402,010	
	銘 柄 数 < 比 率 >	74	<94.9%>	

\*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\*邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

\*株数・評価額の単位未満は切り捨て。ただし、株数が単位未満の場合は小数で記載。

\*銘柄コード等に変更・相違がある場合は、銘柄名が同一であっても別銘柄として記載しています。

## 外国投資信託証券

銘柄	当 期 末			
	口 数	評 価 額		比 率
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ) AMERICAN TOWER CORP	口 900	千アメリカドル 209	千円 27,147	% 1.8
合 計	口 数 ・ 金 額 900	209	27,147	
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	<1.8%>	

\*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\*比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

\*単位未満は切り捨て。

## ○損益の状況 (2021年8月2日～2022年5月16日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	7,523,353 円
受取配当金	7,529,699
受取利息	13
その他収益金	522
支払利息	△ 6,881
(B) 有価証券売買損益	△ 33,296,931
売買益	211,629,607
売買損	△244,926,538
(C) 保管費用等	△ 6,217,492
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 31,991,070
(E) 追加信託差損益金	57,017,983
(F) 解約差損益金	△ 1,905,999
(G) 計(D+E+F)	23,120,914
次期繰越損益金(G)	23,120,914

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

# キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

第16期（2021年7月27日から2022年7月25日まで）

信託期間	無期限（設定日：2007年2月20日）
運用方針	■安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ■ 最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		公 組 入 社 比	債 率	純 総 資 産 額
		騰 落	中 率			
12期（2018年7月25日）	円		%		%	百万円
	10,172	△0.0			69.2	4,478
13期（2019年7月25日）	10,167	△0.0			72.9	3,760
14期（2020年7月27日）	10,160	△0.1			86.2	4,668
15期（2021年7月26日）	10,154	△0.1			62.8	5,851
16期（2022年7月25日）	10,152	△0.0			75.3	4,586

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## ■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		公 組 入 社 比	債 率
		騰 落	率		
(期 首) 2021年7月26日	円		%		%
	10,154	—			62.8
7月末	10,154		0.0		61.0
8月末	10,154		0.0		72.4
9月末	10,154		0.0		59.0
10月末	10,154		0.0		65.7
11月末	10,153		△0.0		65.3
12月末	10,152		△0.0		58.4
2022年1月末	10,152		△0.0		62.5
2月末	10,151		△0.0		67.5
3月末	10,151		△0.0		71.2
4月末	10,151		△0.0		81.8
5月末	10,151		△0.0		76.3
6月末	10,152		△0.0		73.0
(期 末) 2022年7月25日		10,152	△0.0		75.3

※騰落率は期首比です。

## 1 運用経過

### ▶ 基準価額等の推移について（2021年7月27日から2022年7月25日まで）

#### 基準価額等の推移



期首	10,154円
期末	10,152円
騰落率	-0.0%

### ▶ 基準価額の主な変動要因（2021年7月27日から2022年7月25日まで）

当ファンドは、本邦通貨建ての公社債および短期金融商品等を主要投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行いました。

#### 下落要因

- ・ マイナス金利政策導入を背景として無担保コールレートがマイナス化していること

### ▶ 投資環境について（2021年7月27日から2022年7月25日まで）

期間における国内短期金融市場は、マイナス圏で推移しました。

#### 国内短期金融市場

国内短期金融市場では、期間の初め-0.11%近辺でスタートした国庫短期証券3ヵ月物の利回りは、-0.08%~-0.20%の狭いレンジで推移し、-0.15%近辺で期間末を迎えました。

▶ ポートフォリオについて (2021年7月27日から2022年7月25日まで)

安全性と流動性を考慮し、短期の政府保証債を中心とした運用を行いました。年限に関しては、残存6ヵ月以内の短期の政府保証債を中心とした運用を継続しました。

▶ ベンチマークとの差異について (2021年7月27日から2022年7月25日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

## 2 今後の運用方針

日本銀行は2021年3月の金融政策決定会合において、より効果的で持続的な金融緩和を実施していくための点検を行いました。現時点で日本銀行によるマイナス金利の深掘りの可能性は低いものの、現行の強力な金融緩和政策を継続することから、市場利回りは当分の間低い水準での推移を予想します。当ファンドでは引き続き、安全性と流動性をもっとも重視したスタンスでの運用を継続し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行ってまいります。ファンドの平均残存年限については、2～4ヵ月程度を目安に短めを基本とする方針です。

### ■ 1万口当たりの費用明細 (2021年7月27日から2022年7月25日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) その他費用 (その他)	0円 (0)	0.001% (0.001)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	0	0.001	

期中の平均基準価額は10,152円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。  
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。  
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

### ■ 当期中の売買及び取引の状況 (2021年7月27日から2022年7月25日まで)

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	特 殊 債 券	2,864,455	(3,066,000)
	社 債 券	1,806,994	(1,800,000)

※金額は受渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

※（ ）内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

※社債券には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

※管理上の都合により、一部の銘柄において属性が変わっている場合があります。

■ 利害関係人との取引状況等 (2021年7月27日から2022年7月25日まで)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B	B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	D C
公 社 債	4,671	1,308	28.0	—	—	—

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMB C日興証券株式会社です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況  
(2021年7月27日から2022年7月25日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2022年7月25日現在)

公社債

A 債券種類別開示

国内(邦貨建)公社債

区 分	期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBBB格以下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
特 殊 債 券 (除く金融債券)	2,346,000 (2,346,000)	2,352,252 (2,352,252)	51.3 (51.3)	— (—)	— (—)	— (—)	51.3 (51.3)
普 通 社 債 券	1,100,000 (1,100,000)	1,102,492 (1,102,492)	24.0 (24.0)	— (—)	— (—)	— (—)	24.0 (24.0)
合 計	3,446,000 (3,446,000)	3,454,745 (3,454,745)	75.3 (75.3)	— (—)	— (—)	— (—)	75.3 (75.3)

※( )内は非上場債で内書きです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

※管理上の都合により、一部の銘柄において属性が変わっている場合があります。

## キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

### B 個別銘柄開示 国内（邦貨建）公社債

種 類	銘 柄	期			末
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
特 殊 債 券 (除く金融債券)	39政保地方公共団	0.8010	115,000	115,059	2022/08/15
	1 政保新関西空港	0.8010	445,000	445,366	2022/08/29
	51 政保関西空港	2.1000	100,000	100,230	2022/08/31
	40政保地方公共団	0.8190	170,000	170,223	2022/09/16
	173 政保道路機構	0.8190	100,000	100,161	2022/09/30
	218 政保預金保険	0.1000	100,000	100,047	2022/10/14
	175 政保道路機構	0.7910	135,000	135,313	2022/10/31
	42政保地方公共団	0.8050	281,000	281,764	2022/11/14
	23 政保日本政策	0.7340	200,000	200,646	2022/12/16
	182 政保道路機構	0.8340	400,000	401,928	2023/01/31
	18 政保中部空港	0.6680	300,000	301,510	2023/03/22
小 計		—	2,346,000	2,352,252	—
普 通 社 債 券	372 中国電力	1.2040	100,000	100,099	2022/08/25
	7 日本電産	0.1140	100,000	100,008	2022/08/30
	46 三井不動産	0.9640	100,000	100,091	2022/08/30
	11 ダイセル	0.1400	200,000	200,017	2022/09/15
	87東日本旅客鉄道	0.8690	100,000	100,151	2022/09/27
	94 丸紅	1.1700	100,000	100,240	2022/10/12
	3 東燃ゼネラル石油	1.2220	100,000	100,430	2022/12/05
	19 ダイキン工業	1.2040	100,000	100,460	2022/12/12
	11 LIXILグループ	0.0100	100,000	99,936	2023/07/18
6 JXホールディングス	1.1190	100,000	101,056	2023/07/19	
小 計		—	1,100,000	1,102,492	—
合 計		—	3,446,000	3,454,745	—

※管理上の都合により、一部の銘柄において属性が変わっている場合があります。

### ■ 投資信託財産の構成

(2022年7月25日現在)

項 目	期		末
	評 価 額	比 率	
公 社 債	千円		%
	3,454,745		75.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,134,253		24.7
投 資 信 託 財 産 総 額	4,588,998		100.0

## キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

### ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年7月25日現在)

項 目	期 末
<b>(A) 資 産</b>	<b>4,588,998,699円</b>
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	1,128,939,961
公 社 債 (評価額)	3,454,745,014
未 収 利 息	4,924,447
前 払 費 用	389,277
<b>(B) 負 債</b>	<b>2,010,298</b>
未 払 解 約 金	2,007,896
そ の 他 未 払 費 用	2,402
<b>(C) 純 資 産 総 額 (A - B)</b>	<b>4,586,988,401</b>
元 本	4,518,439,727
次 期 繰 越 損 益 金	68,548,674
<b>(D) 受 益 権 総 口 数</b>	<b>4,518,439,727口</b>
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	<b>10,152円</b>

※当期における期首元本額5,763,082,023円、期中追加設定元本額2,653,267,074円、期中一部解約元本額3,897,909,370円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

SMBCファンドラップ・日本バリュー株	984,252円
SMBCファンドラップ・J-REIT	984,252円
SMBCファンドラップ・G-REIT	93,018,163円
SMBCファンドラップ・ヘッジファンド	311,216,889円
SMBCファンドラップ・米国株	984,543円
SMBCファンドラップ・欧州株	89,718,432円
SMBCファンドラップ・新興国株	61,111,034円
SMBCファンドラップ・コモディティ	30,882,058円
SMBCファンドラップ・米国債	136,874,567円
SMBCファンドラップ・欧州債	68,341,252円
SMBCファンドラップ・新興国債	54,958,024円
SMBCファンドラップ・日本グロース株	167,596,581円
SMBCファンドラップ・日本中小型株	27,029,827円
SMBCファンドラップ・日本債	964,891,078円
DC日本国債プラス	1,432,047,753円
エマージング・ボンド・ファンド・円コース (毎月分配型)	598,887円
エマージング・ボンド・ファンド・豪ドルコース (毎月分配型)	606,168円
エマージング・ボンド・ファンド・ニュージーランドドルコース (毎月分配型)	347,745円
エマージング・ボンド・ファンド・ブラジルレアルコース (毎月分配型)	619,829円
エマージング・ボンド・ファンド・南アフリカランドコース (毎月分配型)	468,047円
エマージング・ボンド・ファンド・トルコリラコース (毎月分配型)	886,592円
エマージング・ボンド・ファンド (マネーボールファンド)	172,728,849円
大和住銀 中国株式ファンド (マネー・ポートフォリオ)	26,108,158円

エマージング・ボンド・ファンド・中国元コース (毎月分配型)	354,941円
日本株厳選ファンド・円コース	270,889円
日本株厳選ファンド・ブラジルレアルコース	438,760円
日本株厳選ファンド・豪ドルコース	679,887円
日本株厳選ファンド・アジア3通貨コース	9,783円
日本株225・米ドルコース	49,237円
スマート・ストラテジー・ファンド (毎月決算型)	12,541,581円
スマート・ストラテジー・ファンド (年2回決算型)	4,566,053円
カナダ高配当株ツインα (毎月分配型)	433,260円
日本株厳選ファンド・米ドルコース	196,696円
日本株厳選ファンド・メキシコペソコース	196,696円
日本株厳選ファンド・トルコリラコース	196,696円
エマージング・ボンド・ファンド・カナダドルコース (毎月分配型)	25,219円
エマージング・ボンド・ファンド・メキシコペソコース (毎月分配型)	565,128円
グローバル創薬関連株式ファンド	984,834円
世界リアルアセット・バランス (毎月決算型)	466,767円
世界リアルアセット・バランス (資産成長型)	598,196円
米国分散投資戦略ファンド (1倍コース)	207,305,923円
米国分散投資戦略ファンド (3倍コース)	544,096,579円
米国分散投資戦略ファンド (5倍コース)	445,153円
グローバルDX関連株式ファンド (予想分配金提示型)	295,276円
グローバルDX関連株式ファンド (資産成長型)	1,968,504円
日興FWS・日本株クオリティ	19,697円
日興FWS・日本株市場型アクティブ	19,697円
日興FWS・先進国株クオリティ (為替ヘッジあり)	19,697円
日興FWS・先進国株クオリティ (為替ヘッジなし)	19,697円
日興FWS・先進国株市場型アクティブ (為替ヘッジあり)	19,697円
日興FWS・先進国株市場型アクティブ (為替ヘッジなし)	19,697円
日興FWS・新興国株アクティブ (為替ヘッジあり)	19,697円
日興FWS・新興国株アクティブ (為替ヘッジなし)	19,697円
日興FWS・日本債アクティブ	19,697円
日興FWS・先進国債アクティブ (為替ヘッジあり)	19,697円
日興FWS・先進国債アクティブ (為替ヘッジなし)	19,697円
日興FWS・新興国債アクティブ (為替ヘッジあり)	19,697円
日興FWS・新興国債アクティブ (為替ヘッジなし)	19,697円
日興FWS・Jリートアクティブ	19,697円
日興FWS・Gリートアクティブ (為替ヘッジあり)	19,697円
日興FWS・Gリートアクティブ (為替ヘッジなし)	19,697円
日興FWS・ヘッジファンドマルチ戦略	19,697円
日興FWS・ヘッジファンドアクティブ戦略	19,697円
大和住銀マルチ・ストラテジー・ファンド (ヘッジ付) (適格機関投資家限定)	98,396,143円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。



## ■ 損益の状況

(自2021年7月27日 至2022年7月25日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	24,828,178円
受 取 利 息	25,479,526
支 払 利 息	△ 651,348
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△25,929,128
売 買 益	8,500
売 買 損	△25,937,628
(C) そ の 他 費 用 等	△ 47,699
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 1,148,649
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	88,861,070
(F) 解 約 差 損 益 金	△59,645,514
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	40,481,767
(H) 合 計 (D + E + F + G)	68,548,674
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	68,548,674

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ■ お知らせ

<約款変更について>

該当事項はございません。